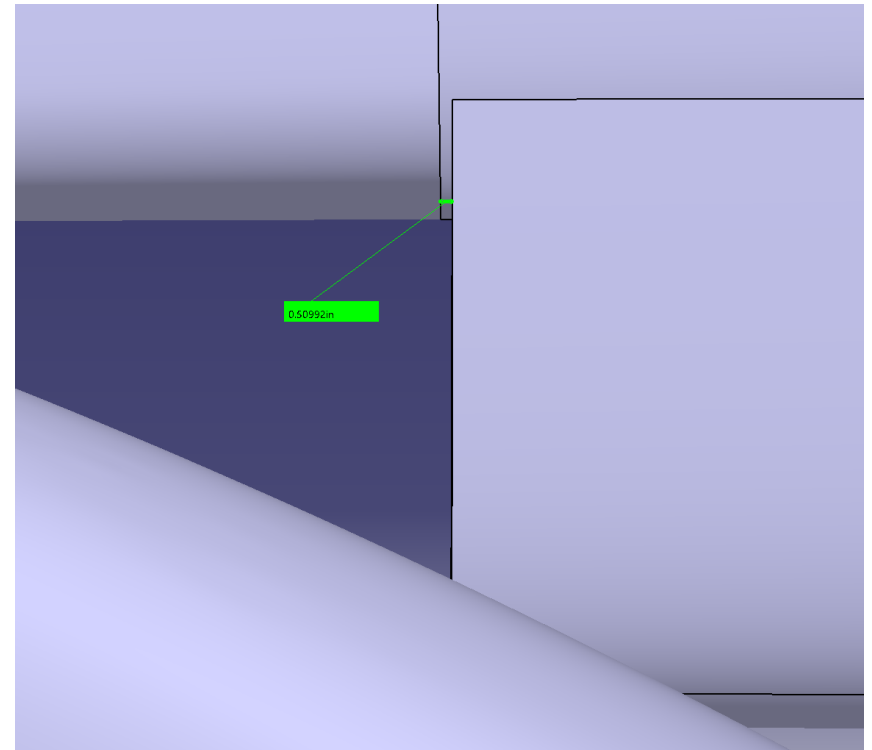
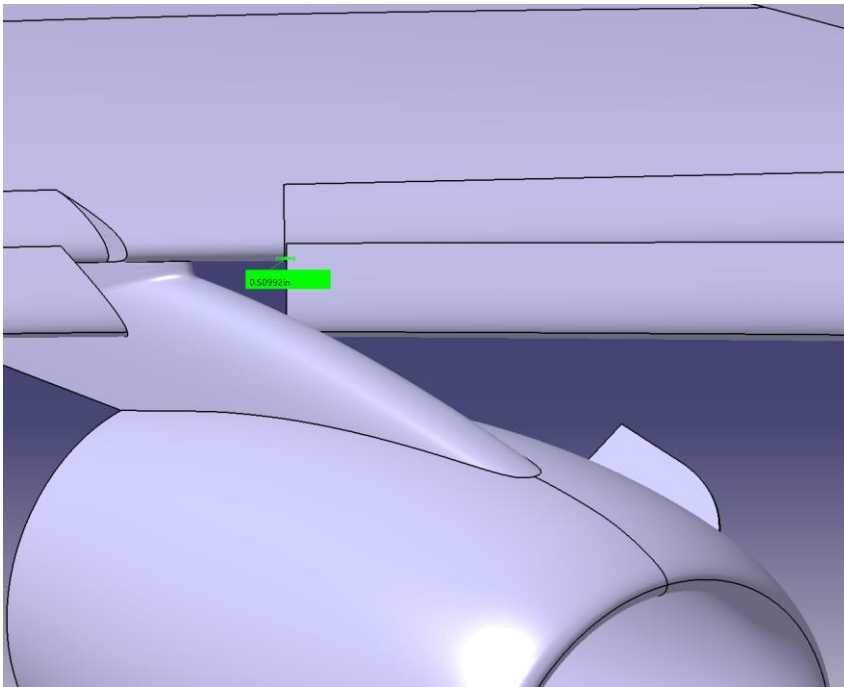


TAS格子生成時の形状修正

- 格子の張りやすさを考慮して、以下の形状修正を施した
 1. 内舷slat端（ナセル側）をトリム
 2. 外舷slat端（翼端側）をトリム
 3. nacelle TE-lipとpylonの段差を埋める
 4. FTFと主翼cusp-lipとの段差を埋める
 5. FTFとflap下面との鋭角な隙間を埋める

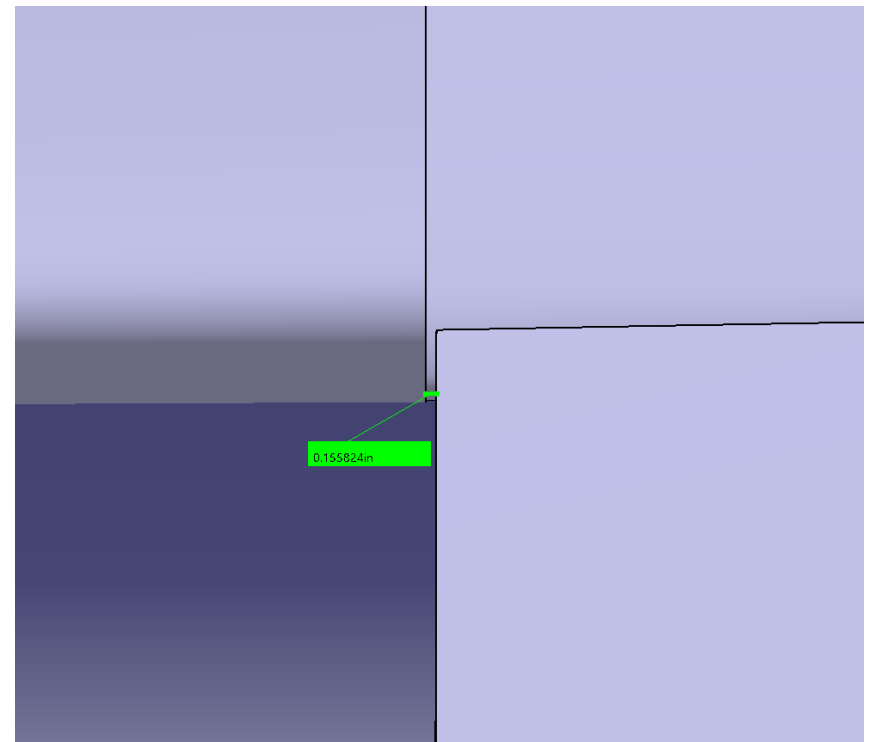
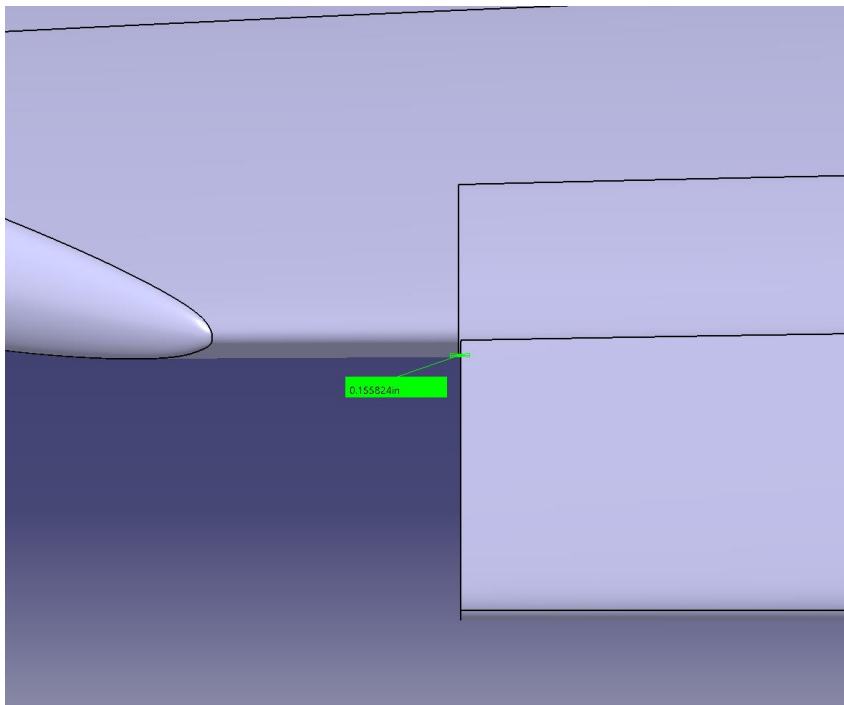
1. 内舷slat端（ナセル側）をトリム

- 母翼側端面との最小距離：0.50992in
 - トリム平面：
 - $-0.60532x - 0.791192y - 0.087194z = -1012.433118\text{in}$
 - 先行格子に合わせたgap



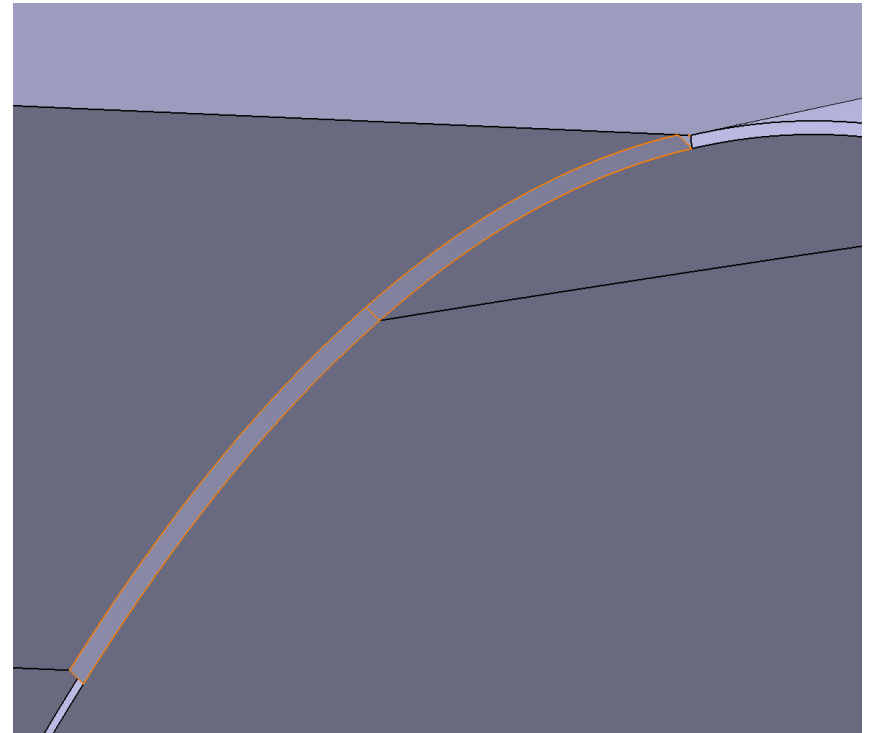
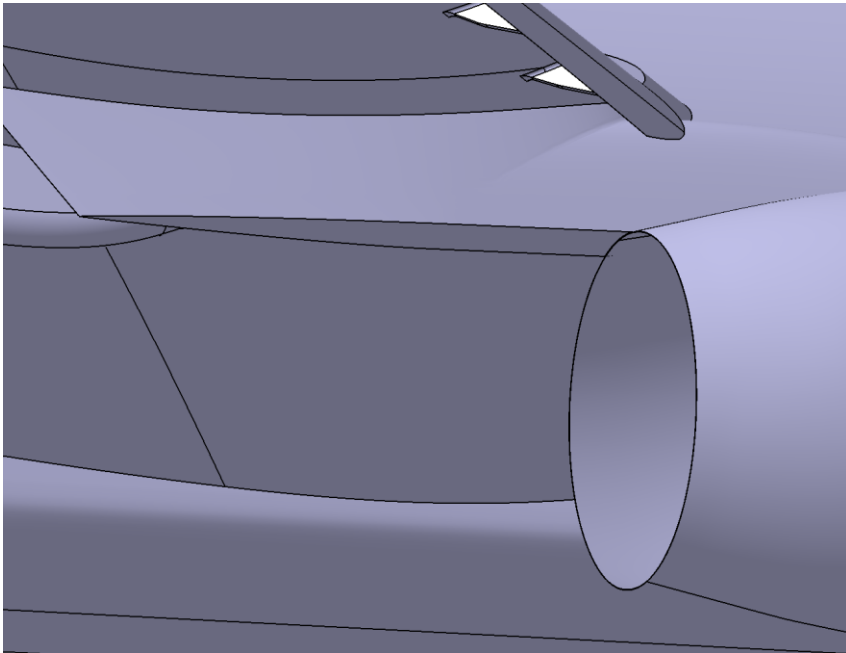
2. 外舷slat端（翼端側）

- 母翼側端面との最小距離：0.155824in
 - トリム平面：
 - $-0.603136x - 0.794199y - 0.073989z = -1996.682502\text{in}$
 - 先行格子に合わせたgap



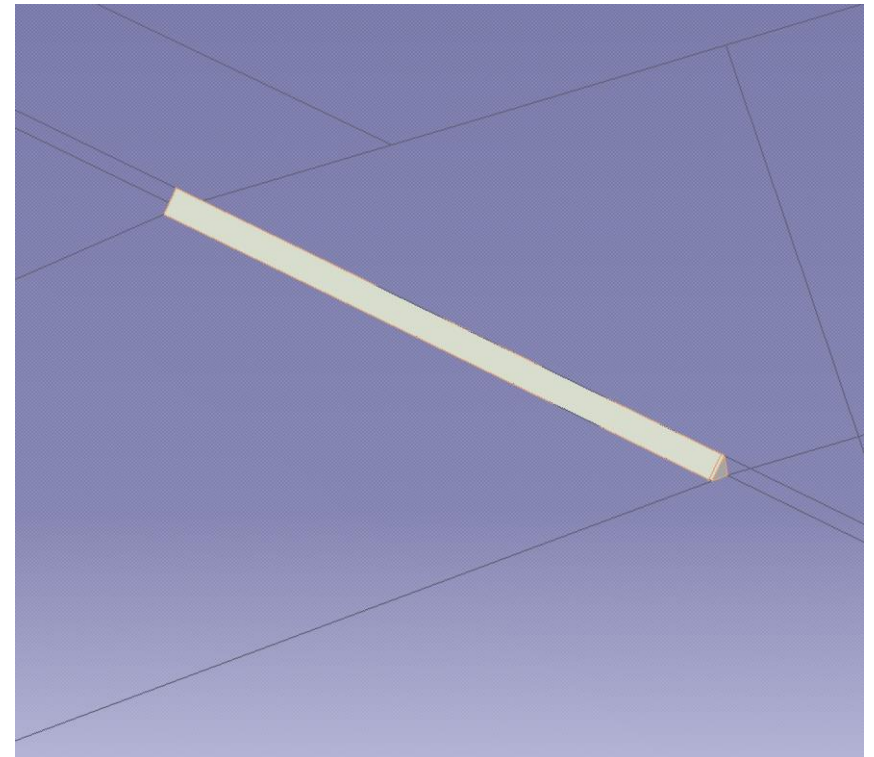
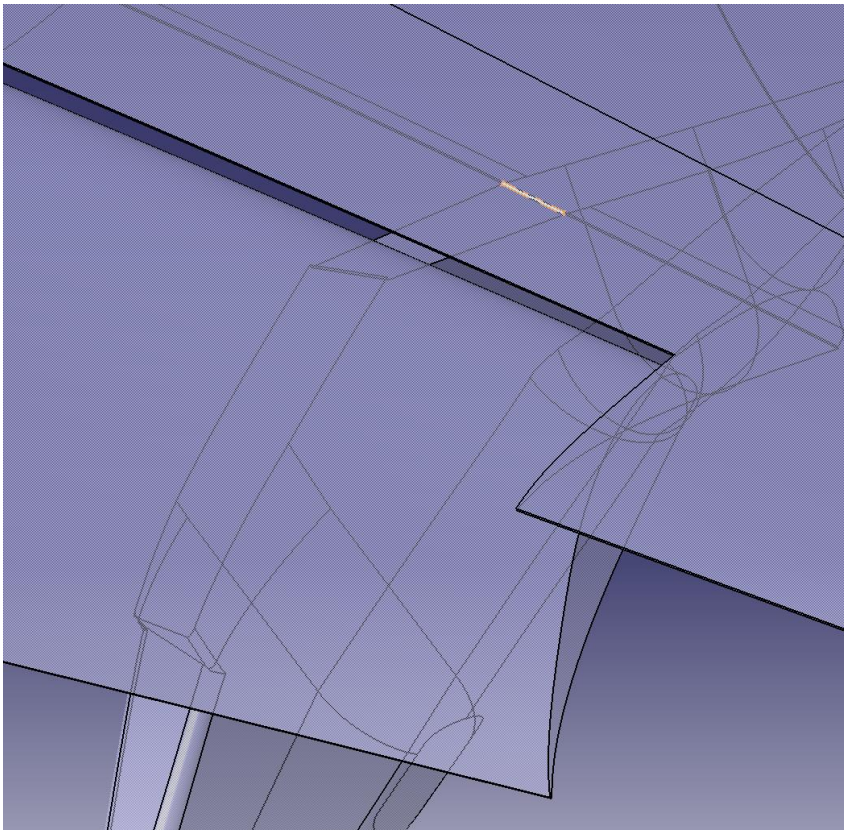
3. nacelle TE-lipとpylonの段差を埋める

- 角部で法線が立たないため、0.2in幅で平面に埋める (=C0.2)



4. FTFと主翼cusp-lipとの段差を埋める

- 角部で法線が立たないため、0.05in幅で平面に埋める (=C0.05) (3か所とも)



5. FTFとflap下面との鋭角な隙間を埋める

- 狭くなりすぎるため0.5inの位置まで埋める（3か所とも）

